

ランニング学会公認ランニングクラブ

クラブ運営の手引き

1. ランニング学会が求める公認クラブの基本条件

- ① 自己管理のできるランナー、モラルの高いランナーの育成を目標としてください。
- ② ランニング科学に基づき、ランニング場面に限らず、生活全般を指導・サポートしてください。
- ③ ランナーとしてのマナー、身体のケア、障害予防、生活全般を指導してください。

2. クラブの運営・指導体制について

- ① 各クラブには、活動の全てに責任を持つクラブ代表を置いてください。
- ② クラブの指導スタッフは、認定指導員・ランニング学会員で構成してください。ただし、認定指導員・ランニング学会員以外の人を一部指導スタッフに加えることは可能です。
- ③ 講習・練習会には、認定指導員・ランニング学会員を中心に、会員数に見合う数の指導スタッフが、各回の講習・練習会に出席できるようにしてください。安全を確保し、効率的な指導・サポートを行うためのスタッフ数の基準は、練習会参加者8~10名に対して1名のスタッフ程度とします。
- ④ 各クラブは、独自の受付窓口を設け、会員募集や応募した会員への対応を行ってください。
- ⑤ 各クラブでの問題（クレーム対応など）は、原則として各クラブの内部で処理してください。
- ⑥ 各クラブおよび会員の活動に支障があった場合に備え、スポーツ保険等で補償できるようにしてください（原則として、スポーツ安全協会の保険に加入）。
- ⑦ 会費は、各クラブで社会的な通念に基づいて適切に設定してください。
- ⑧ 指導スタッフには、原則として謝金を支払うこととし、クラブ活動開始時には、各クラブと当該指導者で謝金等について合意を得てください。
- ⑨ 交流駅伝や記録会などのイベントや特別な講習・練習会を実施する際は、他のクラブからの参加を可能とってください。
- ⑩ 各クラブの会員は、他のクラブが主催するイベント等に、当該クラブの許可を得て参加することができます。

3. ランニング学研究発展への協力をお願い

- ① ランニング学会の研究者が研究対象として測定や調査をお願いする場合、積極的にご協力いただきランニング学の発展に貢献してください。
- ② クラブにおいて得られたデータを学会大会に発表したり、学会での発表内容を指導現場に活用したりすることで、研究と実践の橋渡しという重要な役割を担ってください。

以上